

活動報告書（研修等参加）

1 活動名： 地方議員のための質問本番の取り組み方及び政策実現のために、質問後に動く議員活動のしかたセミナーへの参加

2 研修の目的

(1) 本市における課題

少子高齢化の人口減少の社会における住民福祉、地域づくり及び、地方分権推進の流れの住民意識の多様化の中で、議員自身が政策立案能力を発揮し、住民の目線で自治体独自の施策を打ち出していくことが求められている。

(2) 研修の必要性

議員、議会として、一般質問で今後政策法務をどのように考え、推進していけばよいか学び、基礎的な知識を身につけるため。

(3) 研修項目

一般質問の取り組み方、政策実現のための議員活動、政策法務

3 研修内容

(1) 日時： 令和4年7月14日 午前・午後(2 講座)

(2) 会場： in 博多 リファレンス駅東ビル(福岡県福岡市)

(3) 出席者： 6名 村上幸雄、柿澤潔、上條俊道、中島昌子、古沢明子、牛丸仁志

(4) 内容

○ 理想の地方議員とは

ア これからの地方自治体は

効率的かつ自主的な公共経営、住民・住民活動団体との協働、それを実現する首長、議員の選出、住民の積極的な政治参加により、独創的で新しい息吹を感じさせる議員の選出

イ 議会本来の機能は

住民意思を感じられない議案は、首長と腹を据えて議論すべき、住民の声を的確に反映しているかを首長と競い合う機能

ウ 住民との関係は

新しい市民ニーズへの対応、地域社会が抱える問題の明確化、問題解決に向かうプロセスの可視化を同時に実現する政治家

エ そのために

問題点を明らかにする議会レポートの作成、配布、自身の意見を広く住民に伝える。住民から直接意見を聴取する。政治活動が必要

政治活動から、議会内外から情報を収集して、首長に対して批判・追求だけでなく、実現可能な政策提言をすべき。

○ 一般質問本番の取り組み方

ア 質問の効果は、現行の政策を変更、是正させあるいは新規の政策を採用させるなどの目的に効果がある。

イ 質問は、なぜその質問をするのか、各種計画から論点を整理し、結論重視で構成す

べき、幹の設定をしっかりとやる。

ウ 質問通告と職員とのやり取りは、質問は、行政全般にわたる議員主導の政策論争、議員も理事者側も十分な準備が必要。

○ 政策実現のための質問後に動く議員活動

ア 質問と答弁を年次計画で考える。年間原稿作成シート等を作る。

イ 調査研究します。検討します。の追いかけ方は、質問後の役所の動き方の把握が必要

(5) 成果・所感等

ア 理想の地方議員の話聞き、自身の議員活動の振り返りが出来た。

イ 自身が今までの質問の手順を振り返り、改めて一般質問の取り組み方を学ぶ機会となった。

ウ 松本市が活性化し、市民が元気に明るく安心して暮らせる地域づくりを進めるうえで、講師より学んだ、理想の地方議員像である、住民の積極的な参加と議員として独創的で新しい息吹を感じさせる議員に一歩でも近づける心がけとしたい。

エ 質問を通じて、市長に対して批判や追求だけでなく、実現可能な政策提言や、政策の変更、是正及び新規の施策の採用など、広い視野からの質問に心がけたいと感じた。

4 政務活動費

(1) 使途項目 研究研修費

(2) 支出額 690,280 円

(講座費 30,000、日当 9,000、宿泊費 29,600、交通費46,300)×6 人
=689,400 円+(その他 振込手数料 880 円)